

～ 親子で理科を楽しもう ～

平成 21 年 5 月 25 日

## ～ 甲虫（コウチュウ）の羽根 ～

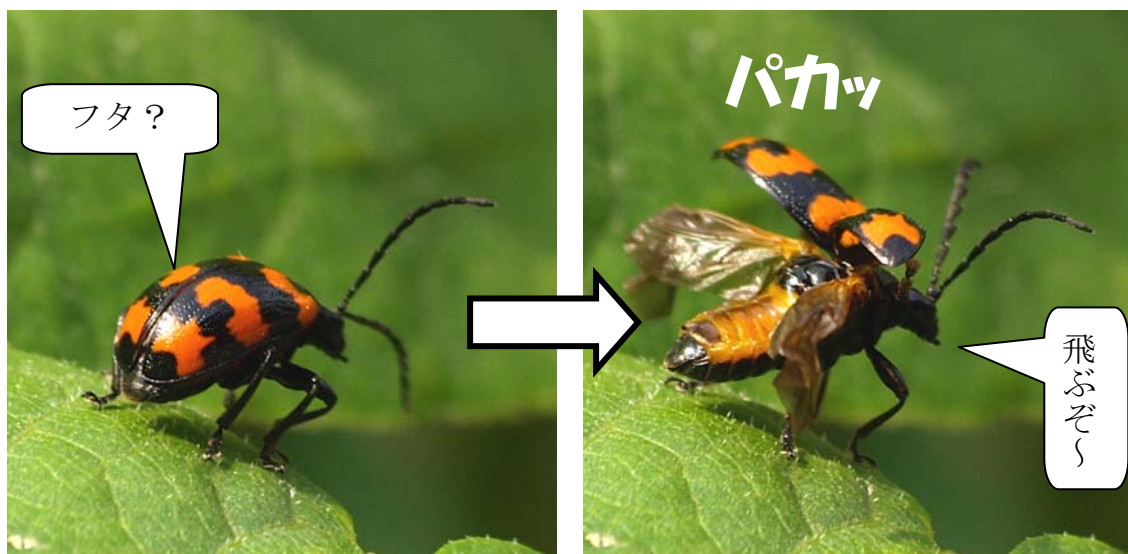
「お父さん、このコンチュウもカブトムシの仲間？」

「そうだよ。イタドリの葉によくいるからイタドリハムシっていうんだ。」

「ふ～ん、そのまんまだね。おもしろい名前。羽根のフタが赤くてきれいだなあ。」

「え？え？ええ～っ？ 羽根のフタだって？」

「うん。このフタが開いてこんな風に羽根が出てくるんだよ。知らないの、お父さん。」



「いや、知っているけど…、あのね、フタじゃなくてそれも羽なんだよ。」

「ちがうよ。だって固いし、それを使って羽ばたかないじゃない。」

「いや、それはそうだけどね（たじたじ）。」

「フタじゃなきゃ甲羅（こうら）ですっっっ。」

「ん～（汗）。いいかい。『フタ』と言っているのが『前羽根』で、『羽根』と言っているのが『後ろ羽根』なんだ。チョウも羽根は4枚でしょ。コンチュウは基本的に羽根が4枚。足が付いている3つの節（ふし）のうち2番目と3番目の節から生えているんだよ。そして、ただ『前羽根』を開いているだけでなく、上手にそれを動かして、バランスをとっているコウチュウの仲間もいるんだよ。」

役割としてはフタでもよいのでしょうけど、体の構造的には、立派な前羽なのです。このように進化するなんて、「生命って本当に素晴らしい」と思うと同時に、不思議さも感じます。羽ばたきは失ったけれども、体と後ろ羽根を守る堅さと鮮やかな色彩を得た甲虫（コウチュウ）たち。今日も、空を目指してレッツゴー。

「やっぱり、甲羅（こうら）だよ～。」 ……だから甲<sup>コウチュウ</sup>虫。

やっほ～

